

文科省の轟補佐が資料42-3-1(現状報告)と前回の質問事項に対する回答を併せて4分弱で説明した後、4分余の質疑応答があり、其の後前回の議事録が確認されて委員会を終了した。

(資料説明の部分は割愛する)

轟補佐:それからですネエ、前回の宇宙開発現状報告の際に、池上委員長からご質問が御座いました、プロトンロケットによるアメリカの通信衛星の打上げについて、一寸報告させて頂いた際にですネエ、アメリカの通信衛星会社が、ロシアのロケットを使って打上げたと言うのは今迄例があったのかと云うご質問がありましたので、其れについて調べました処、2005年から2009年の実績で御座いますが、ソユーズで3件、プロトンで7件、ドニエプルで4件、ゼニットで12件、計26件、アメリカの衛星をロシアのロケットで打ち上げた実績御座いましたので、ご報告させて頂きます。...以上で御座います。

池上委員長:有難う御座います。一応今、最後の話は、ロシアとアメリカの合併会社が、上げてると云う事で、あの、特にアメリカにとっても、アメリカも囓んでるんだって云う事ですネ。

野本:宜しいですか？

池上委員長:はい。

野本:一番上の「あかつき」の話なんですけれど、下から2行目に「金星周回軌道を決定する予定」って書いてありまして、「軌道を決定する」ってどう云う意味ですか。

轟補佐:エエトですネエ、先ずあの一、姿勢制御の為の噴射を朝

の9時位にやるんですけれども、それからですネエ、姿勢制御とか、色々その通信をしながら、速度とかですネエ、そう云ったものを調整しながらこう動いて行って、まあ、最終的に何処かの軌道に入るんですけど、スピードとかも合せて、**其処で軌道が確認された時に「決定した」**¹と。まあ、プロットを取って行ってですネエ、斯う云う動きをしていると。其のプロットを見て行って、此の軌道だと云うのを確定するのがまあ夜の9時位と云う事を予定してると云う風に聞いています。

野本:あの、私が聞きたいのは、最初から此の軌道に入れようとして入れてるんじゃないんですかって云う事です。

轟補佐:ええ、ではないと云う風に確認してます。

井上:ああ、いや、入れようとして入れるんですが、其れはあの入れる筈ですけども、地上で、其の軌道をどう云う、結果としてどう云う軌道に入ったかを決めると...

森尾:軌道が決まる。

轟補佐:ア、決まる...

井上:決まるって云う事だと思うんですけど。

轟補佐:ああ、ああ、狙いはあるんですがって云う事ですネ。

井上:そうです。

¹ 説明では「確認」とか「確定」と云う言葉を使っているのに表記が「決定」であるから違和感を覚えるのである。原文(英語)では受身形を使っているのではなからうか。「現状報告」に最も少なく手を加えれば、「同日21時頃、決定された金星周回軌道を発表できる見込み」となるのではなからうか。

池上委員長: 其れを確認してヨ! 僕もネ、同じ質問してたんですけど、**文章がおかしい**²んじゃないかと。

轟補佐: いや、実は私も其れ、同じことを確認して、最初そう云う回答を頂いてました。

池上委員長: ですから、複数あって、未だ決まってないんでしょ? で、此れ見せるって云う事は

誰か: 入れたい軌道は決まってる。

轟補佐: 入れたい軌道は決まってるんですが...

井上: 当然ある筈ですヨネエ。

池上委員長: そうしたら、此れおかしい。

井上: その...「軌道決定」って云うのは、結果としての軌道決定って云う言葉は使うので、そう云う意味で使ってるのかナと思っただけです。

轟補佐: ア、当に其の通りで御座います。

森尾: (マイクを通さないのので聞こえない)

井上: 誤解を招きますネ。

池上委員長: じゃ、此処も、此の表現、みんな分からなかったって云うんでネ、ISAS に返しといて下さいヨ。

轟補佐: 承知いたしました。

池上委員長: 元所長がいらっしゃるんだけど。.....

² 「文章がおかしい」でも良いが、「業界人以外には伝わらない」と言う方が正確だろう。業界内では出来るだけ短い言葉で伝えようとするので、用語を特殊な定義で使う事は良くある。NASA の Abbreviation も有名である。其れを外に伝える場合には、適切な用語に置き換える必要があるだろう。

池上委員長: 他に、何か御座いますでしょうか。...後、此れもネ、報告書の一番下の HYLAS、此れネエ、ISRO も囃んでるでしょう。.....通信衛星...囃んでません、此れ、ISRO も...あの、囃んでる...ア、まあ、何れにしても私一寸聞きたかったのは、衛星にしてもロケット打上げについてもネ、国際的に色んな組合せでやってるらしいと。で、日本の場合、どちらかと云うと日本単独でやってんのが強いんだけど、もう色んな処で国際協力が行われて居ると云う事を...

轟補佐: ア、あの、仰る通りであの、製造者の処にですネエ、ISRO が入って居ります。ASTRIUM 社、ISRO となって居りません。

池上委員長: ですから ISRO の時と、確か此れ 2.5 トン位だから、ISRO に取って見ると最近の中で一番重いものになるんだけど、何で ISRO がやるんですかネエって、単純に一寸そんな風に思ったんですヨ。で、実際な多分此のアバンティ...じゃなくて、此れはあの一、エエト、EADS が囃んでる筈ですナ.....いずれにしてもサテライトについても色んな所が協力する様な形でやってるんで、**日本も国際化を考える場合に、其の辺も考え**³て置いておかなきゃ...ムニヤムニヤ...他に何かご意見は御座いませんか。御座いません様でしたら、前回の議事要旨、斯う云う事で宜しゅう御座いますでしょうか。それではどうも有り難う御座いました。

³ 夫々の国が異なる背景の中で国際協力を行なっている。ISS が日本の国際協力の中で最も重要で、然も結構上手くこなして来ているのではないだろうか。見える形だけで比べられないと思う。